

美術科学習指導案

平成22年6月8日(火) 美術科教室
 3年1組 男子20名 女子20名 計40名
 授業者 藪 陽介

1 題材名 「ユニバーサルデザインを考える」

2 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・自分や友達が見つけたユニバーサルデザインのよさについて、自分の考えの根拠を明らかにして考えることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点と評価 (●)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 4人グループになり、各自が調べたユニバーサルデザインについて発表し合う。 ○ 本時の課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なユニバーサルデザインを鑑賞させることで、概念を広げさせるとともに、ある程度の分類を意識させるきっかけとする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ユニバーサルデザインとしてどのような工夫があるのだろうか</div>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自が調べたユニバーサルデザインを見て、どのような工夫がされているのかを考え、ワークシートに記入するとともに、どの原則に基づき考えたのか黒板にネームプレートを貼る。 <div data-bbox="233 1261 799 1744" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ユニバーサルデザイン7つの原則</p> <p>A: 誰にでも公平に利用できること</p> <p>B: 様々な使い方ができること</p> <p>C: 使い方が簡単なこと</p> <p>D: わかりやすい表示や表現がされていること</p> <p>E: うっかりミスや危険につながらないデザインであること</p> <p>F: 楽な姿勢で、少ない力でも使用できること</p> <p>G: 移動やスペースに障害がないこと</p> <p>(ユニバーサルデザインセンター: ノースカロライナ州立大学による)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の発表を聞き、感じたことや、他の要素について気付いたことがあれば発表する。 ○ 話し合いを振り返り、感じたこと(考えが広がったこと、新たに気付いたことなど)を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な要素を含んでいるものを教師側で抽出し、提示することで、一つの製品でも様々な意図をもってデザインされていることに気付かせる。 ・ユニバーサルデザインの原則に基づき発表できるよう、黒板に掲示しておく。 ・各自が、どの観点について工夫を感じたのか明確に意識できるように、ネームプレートを活用し、黒板上で位置づける。 ・事前に生徒各自が調べたユニバーサルデザインについて把握しておき、話し合いが深まるよう意図的に指名する。 <ul style="list-style-type: none"> ・同じデザインでも、異なる視点で選んでいる者 ・一つのデザインのなかに、ユニバーサルデザインの要素が多様に含まれているものを調べた者 ● 自分や友達を選んだユニバーサルデザインに、多様な要素が含まれていることに気付くことができたか。(ワークシート) ・自分や友達を選んだものの中にも、不便な点に気付いた生徒がいればとり上げて、次時の活動への動機付けとする。

